

会 社 名 **小松ウオール工業株式会社**  
 代表取締役社長 加納 裕  
 コード番号 7949  
 問合せ先 取締役社長室長  
 奈良本 明則  
 TEL (0761) 21 - 3234

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 14年 7月 23日の平成15年3月期第 1四半期業績概況発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

### 記

#### 1.15年 3月期連結中間業績予想数値の修正 (平成 14年 4月 1日 ~ 平成 14年 9月 30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期中間純利益
前回発表予想(A) (平成 14年 7月 23日 発表)	10,000	760	430
今回修正予想(B)	10,463	1,034	557
増減額(B - A)	463	274	127
増減率	4.6%	36.1%	29.6%
前期 (平成13年 9月中間期)実績	10,793	1,066	565

#### 2.15年 3月期中間業績予想数値の修正 (平成 14年 4月 1日 ~ 平成 14年 9月 30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期中間純利益
前回発表予想(A) (平成 14年 7月 23日 発表)	9,650	750	420
今回修正予想(B)	9,999	998	557
増減額(B - A)	349	248	137
増減率	3.6%	33.1%	32.6%
前期 (平成13年 9月中間期)実績	10,456	1,030	571

### 3.理 由

売上高については受注環境の厳しい中、積極的な営業活動が奏効したことにより連結、単体ともに若干計画を上回る見込みとなりました。

利益面については、増収効果に加え、グループ丸となったコストダウン活動と生産ラインの合理化を図った固定間仕切等の増産効果等から、売上総利益率が連結0.2%、単体0.4%計画比改善し、また販売費及び一般管理費についても経費圧縮に努めた結果、予算を若干下回ることができたため、経常利益、当期中間純利益は連結、単体ともに計画を上回る見込みとなりました。

通期業績予想につきましては、厳しい受注競争、価格競争、長引く建設業界の不況等の不透明な状況が続くと見られるため、平成14年7月23日に公表した業績予想値は変更いたしません。

#### 平成15年3月期通期業績予想

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
連結	23,540	2,400	1,340
単体	22,500	2,150	1,200

以上